

# 地域におけるBCPサポートへの取組み

～「気づき」から「サポート」、地域との共存共栄を目指して～

2006年10月6日  
株式会社滋賀銀行  
代表取締役専務 大道 良夫



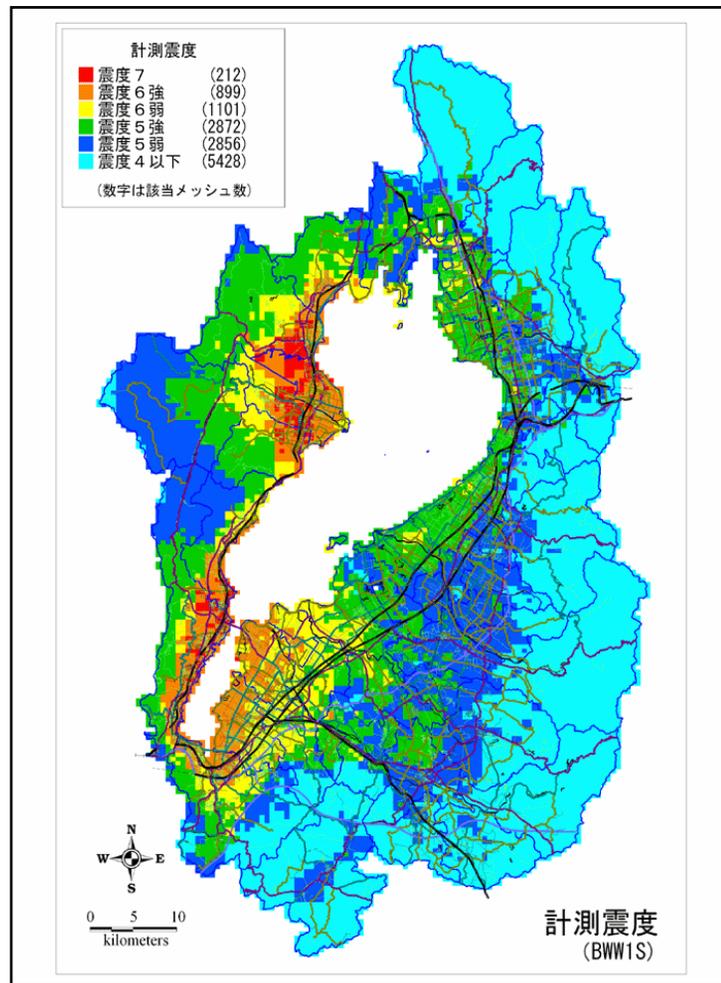
# 1. 滋賀県内地震リスクについて

◆琵琶湖西岸断層帯の地震発生確率は、我が国の主な活断層(98断層)の中では高いグループ

【震源が大津市中部の場合】

項目	将来の地震発生確率
今後30年以内の地震発生確率	0.09 % - 9 %
今後50年以内の地震発生確率	0.20 % - 20 %
今後100年以内の地震発生確率	0.30 % - 30 %
今後300年以内の地震発生確率	2.00 % - 60 %

参考項目	当地震発生直前の地震発生確率
1995年兵庫県南部地震	
野島断層 (兵庫県)	0.40 % - 8 %
M7.3	(今後30年以内の地震発生確率)



- ◆琵琶湖西岸断層帯は9つの断層から構成される断層帯であり、長さ約59Kmに渡るもの
- ◆地震調査研究推進本部発表「琵琶湖西岸断層帯の評価」
  - ・琵琶湖西岸断層帯全体が一つの区間として活動
  - ・マグニチュードは7.8程度の規模を想定
  - ・発生確率の最大値(30年～50年以内:9%～20%)のみを勘案すれば非常に高い確率
- ◆主な活断層の中では発生確率が高いグループに属し、非常に憂慮すべき事態と受け止めている。

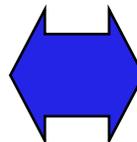
(出典) 滋賀県HP

想定地震	発生時刻	建物被害		人的被害			地震火災	避難者数	
		全壊棟数	半壊棟数	死者数	負傷者数	重傷者数			
琵琶湖西岸断層地震 (震源が大津市中部の場合)	早朝	45,994	54,078	1,274	10,166	650	39	82,889	
	昼間			857	7,941	511	93		
	夕刻			898	7,635	493	93		
	(震源が大津市と志賀町の境の場合)	早朝			1,173	9,907	639		37
		昼間	43,463	53,711	851	7,389	474		87
		夕刻			848	7,352	478		87
	(震源が高島市中部の場合)	早朝			885	9,947	622		30
		昼間	37,976	51,689	676	7,604	469		73
		夕刻			653	7,402	467		73
花折断層地震	早朝			126	4,475	345	9		
	昼間	6,665	23,392	94	3,416	267	19		
	夕刻			89	3,289	257	19		
東南海・南海地震	早朝			50	702	50	0		
	昼間	1,427	5,848	41	500	41	0		
	夕刻			43	531	44	0		

## 2. 県内企業の危機管理等への取組み状況

### 現在対策を講じている

①経済リスク(経済危機,株,為替,材料高騰 等)	43.4%
②製品リスク(製造物責任,欠陥商品,特許紛争等)	41.8%
③環境リスク(環境汚染,廃棄物処理 等)	29.8%
⋮	
<u>⑨自然災害 (地震,台風,洪水,伝染病等)</u>	<u>10.8%</u>
⑩法務リスク	10.8%



### 今後対策が必要

①経済リスク	46.4%
②製品リスク	38.6%
③環境リスク	31.4%
⋮	
<u>⑨自然災害</u>	<u>12.3%</u>
⑩法務リスク	9.7%

◎自然災害リスクに対する関心は高まりつつあるものの、実際の対策実施については、十分に浸透していない。

出典：しがぎん経済文化センター  
「県内企業動向調査」(平成18年6月実施)

### 3. 滋賀銀行におけるリスク対策への取組み背景

#### 【事象】

- ・中越地震、福岡沖地震等と大型地震が相次ぎ発生。各地域において地震への対策議論の活発化
- ・地震に限らず、台風・豪雨・豪雪・大規模火災等の、企業経営に大きな影響を与える災害や事故の多発

#### 【全国】

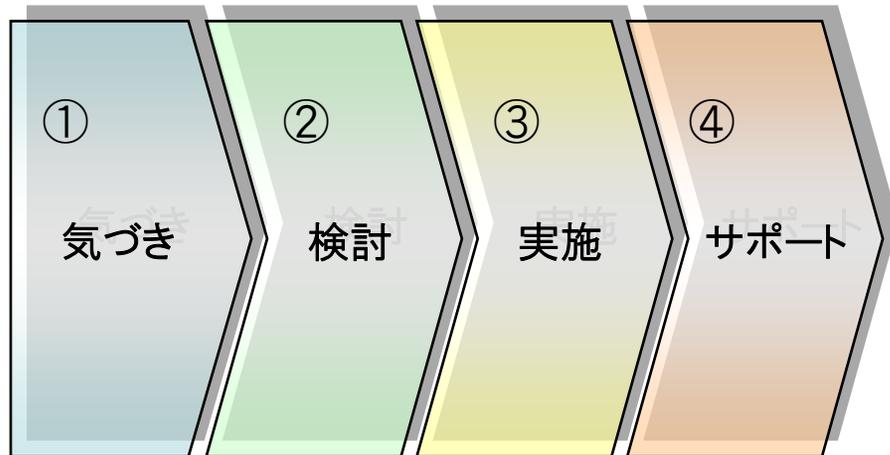
- ・行政によるリスク対策の標準化へ動き
  - 内閣府…事業継続ガイドライン
  - 経済産業省…事業継続計画策定ガイドライン
  - 中小企業庁…中小企業BCP策定運用指針
  - ISO…BCの国際標準化 等々
- ・民間レベルにおいて地震リスク等のリスクマネジメントへの関心の高まり

#### 【滋賀】

- ・滋賀県において平成17年4月14日「琵琶湖西岸断層帯等による地震被害予測調査」を公表
- ・地震リスクに対し「非常に憂慮すべき事態」とのコメントを発表

- ・当行自身の防災対策をBCPに進化させ、公共性の高い金融機関として、不測の事態が発生した場合でも、経済インフラとしての決済システム、取引先の経済活動への影響を最小限にとどめ、従業員を含めた当行自身の事業継続体制の整備に努める。
  - ・取引先に対し、災害の事前対策から災害(震災)発生後の早期復旧までを強力にサポートする。
- ☆地域金融機関として企業責任を全うし、災害に強い企業・災害に強い地域社会をつくり、地域との共存共栄を目指す。

#### 4. 滋賀銀行が目指す取組みイメージ



地域との共存共栄  
災害に強い企業、地域社会をつくる。

① 災害リスクコンサルティングを提供し、現状を認識していただく。

② BCPを導入、必要なリスク(自然災害等)対策を検討していただく。

③ BCPの策定、設備の耐震強化、情報システムの保全等の実施

④ 災害対策資金の融資対応・災害発生後の復旧融資制度の検討

## 5. 滋賀銀行における具体的な取組み ①

BCP策定のサポートや災害対策取組みを  
環境対策に次ぐ滋賀銀行のCSRと明確に位置づけ

- ・しがぎん経済文化センターを通じて「災害リスクコンサルティング」を提供
- ・地域業界団体におけるBCP勉強会開催のサポートを行う。

滋賀経済同友会の企業防災マネジメント研究会において地震などの不測の事態で企業がダメージを受けた場合のリスクコントロールやBCM(事業継続経営)戦略等を研究

取引先に対し、BCPの必要性を広めるとともにリスク対策に対する「気づき」を提供する。

- ・BCPサポートローン
- ・地震デリバティブの媒介
- ・地震リスクファイナンス(企画検討中)

BCP、災害対策の考えに基づいた商品企画ならびに提案セールスを行う。

## 5. 滋賀銀行における具体的な取組み ②

地域に根ざした融資商品  
↓  
滋賀県の制度融資を展望

BCPサポートローン(平成18年8月全国に先駆けて発売)

### 【災害リスクコンサルティング】

しがぎん経済文化センター提供

- ①地震リスク総合診断サービス  
エヌ・ケイ・リスクコンサルティング(株)
- ②危機管理体制診断サービス  
東京海上日動リスクコンサルティング(株)
- ③BC(事業継続性)現状分析サービス  
富士通(株)

### 【融資】

BCP策定 or 災害リスクコンサル利用

+

具体的な災害対策の実施

↓

融資金利を0.3%優遇

### 【新たなリスクファイナンス手法の検討】

○被災後、迅速な震災復旧を支援し、事業継続のための資金供給を確実にするスキームの構築

○行政・企業間連携により、リスクファイナンススキームの導入について提案を開始

